

学校名 (児童数)	滋賀県東近江市立五個荘小学校 (679人)
-----------	-----------------------

(本研究に係る問い合わせ先)

所在地：滋賀県東近江市五個荘竜田町 567

電話番号：0748-48-3102

【研究の目的， 研究内容】**(1) 研究主題**

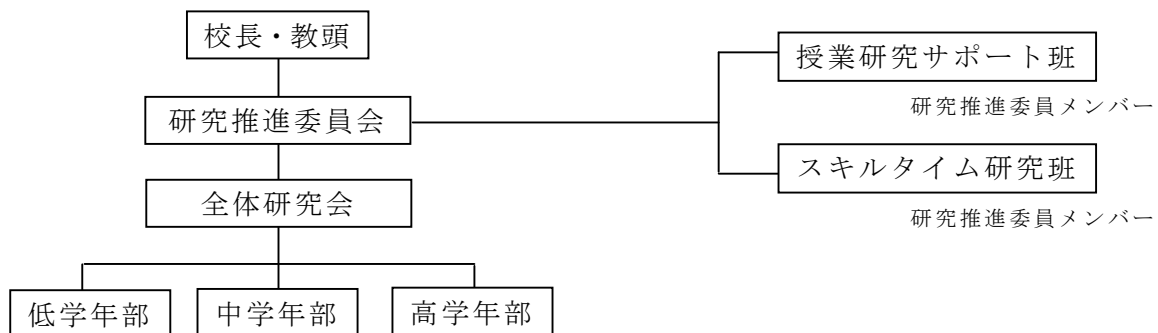
確かな学力を身につけ、自ら学び自ら考える力を育てる算数科の授業

～筋道を立てて考え、表現する力を育てるための授業の創造～

(2) 研究主題設定の理由

昨年度は算数科を窓口にも、児童一人ひとりの思考力・判断力・表現力を高め、相手が納得する説明ができる力の向上をめざして、スキルタイム(朝の帯時間)を活用した基礎基本の定着やノート指導に焦点化して取り組んだ。該当単元の系統性を意識したスキルタイムの指導や学年で共通した一単位時間の学習展開を実施し、自力解決の過程をペア学習やグループ学習の中で交流することで、自分の考えを深め広げたり、よりよい方法で課題解決したりすることについて一定の成果を得ることができた。しかし、数や用語を適切に用いて説明することや学習の流れ、思考過程がわかる授業づくりについては課題が残った。

そこで今年度は、全体交流を通して「根拠を明らかにして考えを進めること」「複数の考えを比べ、よりよい考えを選ぶこと」の充実を図るため、スキルタイムにおける該当単元の系統性を意識した基礎基本の定着とノート指導を充実し、自力解決からペア・グループ学習、全体交流により考えを深める中で、本時の学習で学んだことを児童一人ひとりが自分の言葉で振り返る等の書く場面を設定することを重点とし取組を進めてきた。

(3) 研究体制**(4) 1年間の主な取組の経過**

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・4月8日，9日，5月19日 校内研究会・職員会議 研究内容の検討・共通理解 ・5月7日，8日 全国学力・学習状況調査の自校採点 ・6月18日(水)全体授業研究会 第5学年算数科
「形も大きさも同じ図形を調べよう」 ・6月18日(水)全学級公開授業・指導助言 ・6月18日(水)学年部授業研究会 第2学年算数科「3けたの数」 ・6月18日(水)学年部授業研究会 第4学年算数科「わり算の筆算(1)」 ・7月2日(水)学年部授業研究会 第1学年算数科「10より大きい数」 ・7月25日(金)全体研究会 1学期の取り組み交流、県教委指導主事指導助言 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

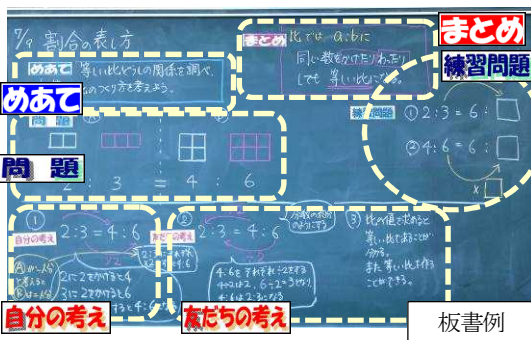
- ・ 8月21日(木) 全体研究会 2学期の指導案検討、県教委指導主事・県教育研究会算数部会講師指導助言
- ・ 9月8日(月) 学年部授業研究会 第3学年算数科「大きい数のしくみ」
- ・ 10月2日(木) 学年部授業研究会 第6学年算数科「速さの表し方を考えよう」
- ・ 11月25日(火) 県教育研究会算数部会研究発表協議会公開授業・研究会
 - 第1学年算数科「ひきざん」
 - 第2学年算数科「かけ算(2)」
 - 第3学年算数科「分数」分けた大きさの表し方を考えよう
 - 第4学年算数科「計算のきまり」計算のやくそくを調べよう
 - 第5学年算数科「四角形と三角形の面積」
 - 第6学年算数科「比例と反比例」比例をくわしく調べよう

(5) 具体的な研究内容・方法, 研究を進める上での工夫点等

① 説明する力を高める

ノート指導と板書 (学習展開の工夫)

自力解決の思考過程がわかるノート指導を充実するため、学習展開を「目標・課題把握→自力解決→ペア・グループ学習→全体討議→まとめ→適用問題→振り返り」として、板書と児童のノートが一体となるよう指導を工夫した。



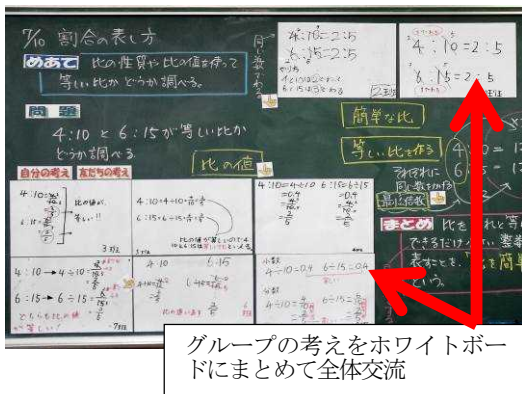
- ・ やり方を学び答えを導き出すだけでなく、根拠を明らかにした自力解決を図るため、言葉、数、式、図を用いて考えを表すようにした。

- ・ 身の回りにある題材を用いたり、具体物の操作から図に表したりするなど、導入や教材の工夫に取り組んだ。

- ・ ペア・グループ学習の場を設定し、考えを出し合ったり自分の考えを説明したりすることで、友達の考えや自分が持たなかった考えを知り考えを広げられるようにした。

- ・ 本時の学習で学んだことを学年に応じてキーワードを提示したりしながら、自分の言葉で説明したり考えをまとめたりするまとめや振り返りの場を設定した。

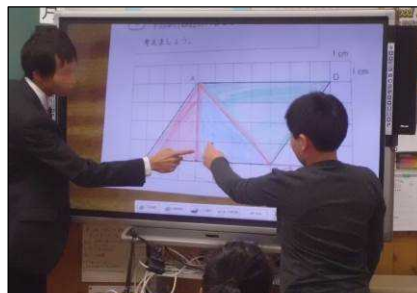
- ・ 単元のゴールを明らかにした授業づくりをめざして、本時や単元の学習でどのような問題が自力解決できるようにするのかを明確にして、本時の練習問題を絞り授業改善に取り組んだ。



グループの考えをホワイトボードにまとめて全体交流



ブロック操作しながらペアで説明しあう様子



電子黒板を用いて説明する様子



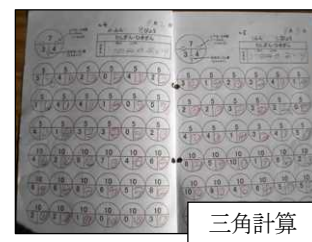
児童ノート掲示

② 基礎基本の定着を図る

スキルタイムを活用と既習内容の掲示

毎朝のスキルタイムを使って、学習単元に関連する既習内容の学習に取り組んだ。単元の系統性・他学年とのつながりを考えて指導計画を立て、学年の実態に応じて計算反復練習を行うなど、基礎学力の向上に努めた。

また、学習した内容が常に目に触れるよう、教室や学年ワークに掲示し、これまでの学習の振り返りや自力解決のヒントに活用した。



三角計算



教室掲示



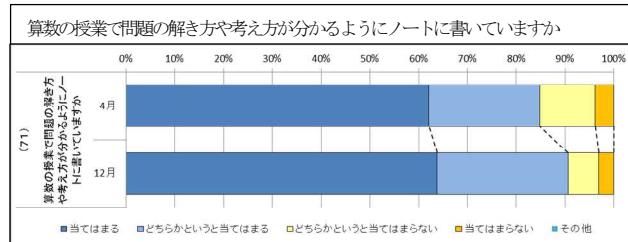
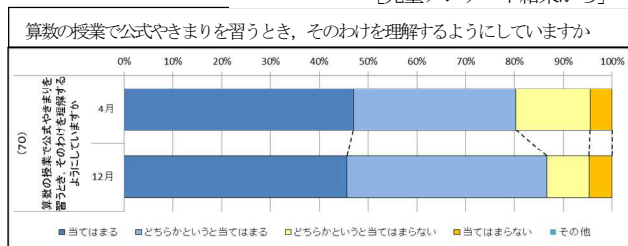
スキルタイム用教材例

【研究成果と課題】

(1) 研究成果

- 学習展開を統一することで学習の見通しが持て、自力解決に不安がある児童もノートに書くことへの抵抗感が少なくなった。単に計算の仕方を知るのではなく、わけを考えようとする児童が4月に比べて12月では6.3pt増えた。また、低学年でも進んで図に表して考えたりする児童が増えてきた。
- ペア学習でノートに書いた図や考え方を示しながら説明したり、グループの考えをホワイトボードにまとめたりすることで意見の交流が図れた。解き方や考え方がわかるようにノートに書いている児童が4月に比べて12月では5.8 pt 増えた。交流によって友だちの意見を聞いて付け加えたりするなど、学習意欲の向上が見られた。
- 児童のノートを意識した指導計画を立てることで、本時の学習においてどのような問題が解けるようにしたいかを明確にして指導を進め、授業改善につながった。

[児童アンケート結果から]



(2) 課題等

- スキルタイムと家庭学習との連携により、基礎基本のより一層の定着を図る取組をさらに充実させていく必要がある。
- 子どもの理解につながる問いをさらに吟味し、児童一人ひとりの確実な理解につながるようにまとめや振り返りの充実を図る必要がある。
- 自分の考えをノートに書くことに抵抗感が少なくなってきたが、説明し伝える力の個人差は大きい。ペア学習での交流は一定進んできたが、算数の用語を適切に用い、分かりやすく伝えるための手立てについて研究を進めていく必要がある。